

6mm 厚バイオマーブル®カウンター (MC) 施工説明書

この度はバイオマーブル®カウンターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく取り扱ってください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

1. 作業準備

【作業前の確認】

○ご使用前に以下の項目について、ご確認ください。



- ・注文した品番、数量と異なっていないことを確認してください。
- ・輸送上の破損やキズなどが無いことを確認してください。

【作業上の注意点】

○バイオマーブル®カウンターは重量物であり、重量は約 9kg/m²になります。バイオマーブル®カウンターを取り扱う際は次の点に注意して安全作業を心がけてください。



- ・運搬の際は安全のため、滑り止めのついた手袋と安全靴を着用し、必ず2人以上で運搬してください。また、縁をしっかりと握り、水平ではなく、垂直に持って運んでください。



○6mm 厚バイオマーブル®カウンターは 10mm 厚バイオマーブル®カウンターと比べて製品が薄くなるため、たわみやすくなります。そのため、下地材の強度や下地に固定する間隔等に注意してください。

【機械・工具類】

○施工を行う上で下記工具類をご用意ください。

圧縮：万力、クランプ、ハンドローラー等

施工：電動ドリル、L型金具、タッピングねじ、推奨接着剤、推奨両面テープ

清掃：柔らかい布（ウエス等）、中性洗剤、アルコール、メラミンスポンジ

【接着剤及び両面テープ】

○推奨接着剤及び推奨両面テープは下記商品名になります。

用途	商品名	種類	メーカー
バイオマーブル®カウンターと合板下地又は裏打ち材の接着	ボンド MPX-1	変成シリコーン樹脂系	コニシ(株)
コーキング	ボンドシリコンコーク※	シリコーン樹脂系	コニシ(株)
バイオマーブル®カウンターと合板下地との仮固定	ボンド TM テープ W1	両面テープ	コニシ(株)

※ 色には種類がございますので、ご要望の色を選定しご使用ください。

【施工箇所】

○屋内の水平面への施工を推奨します。

○サイドパネル用途として使用できます。

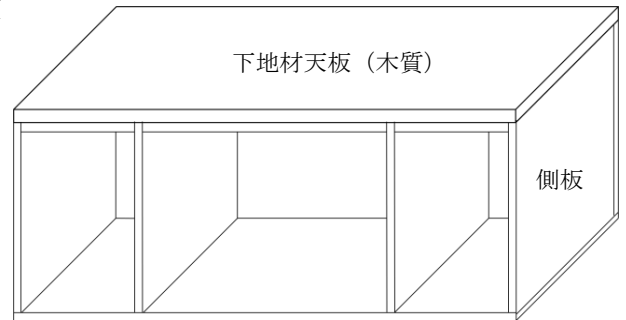
○風雨や直射日光が当たる屋外や半屋外、長時間水濡れや多湿となる浴室、シャワーブース、サウナ等への施工はおやめください。

2.直貼り可能な下地への施工方法

2.1. 下地

2.1.1. 新設下地

- ・下地材は天板がビス等で固定された合板などの木質下地材をご使用ください。ステンレス下地又は金属の下地への直貼りはしないでください。
- ・下地材の強度は天板下の栈木や天板の合板厚みにて調整してください。栈木にて補強する場合は、栈木を太くするか、栈木の間隔を狭めてください。
- ・一部分に荷重が集中するように重量物を積載すると、載荷点がたわんだり端部が浮き上がる恐れがあるため、キャビネット等下地材で十分強度が得られるよう構造設計をした上で施工してください。
- ・顕著なキズ、凹み等がある下地面には施工しないでください。
- ・施工前に下地面の清掃を行ってください。

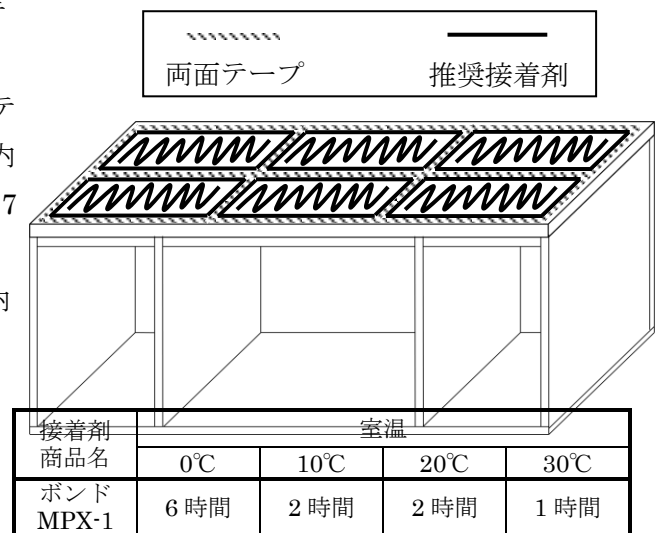


2.1.2. 既存下地

- ・原則、必ず既存の天板を剥がし、木質下地を露出させ、サンドペーパー等で研磨した後、しっかりと清掃してから施工してください。但し、木質下地に十分な強度で接着しているメラミン化粧板下地の場合、増し貼りが可能です。メラミン化粧板下地に施工する場合は、端部の浮きや剥離がなく、十分に接着していることを確認し、しっかりと清掃してから裏面合板等を挟まず、直接施工してください。

2.2. 推奨両面テープと推奨接着剤によるバイオマール®カウンターの固定

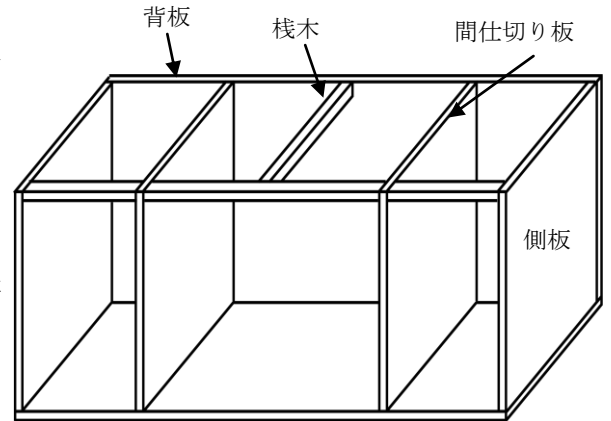
- (1)上記下地材の場合、バイオマール®カウンターは推奨両面テープと推奨接着剤による直貼りでの固定が可能です。
- (2)右図のように下地材天板の端部 5mm 以内に仮止め用の両面テープ、両面テープのすぐ内側に推奨接着剤を線状に塗布し、内部は波線状に塗布してください。使用量目安はカートリッジ0.7本/m² (約 233mL/m²) になります。
- (3)推奨接着剤を塗布後、両面テープの離型紙を剥がし 10 分以内にバイオマール®カウンターを貼り付けてください。
- (4)クランプ等で端部を圧縮できる場合は、右表に従って推奨接着剤が固まるまで圧縮することを推奨します。長時間圧縮できない場合も、両面テープでバイオマール®カウンターと合板下地を仮固定できるよう、上からハンドローラー等で圧縮してください。



3. 側板・背板・間仕切り板・栈木等の枠組み下地への施工方法

3.1. 下地

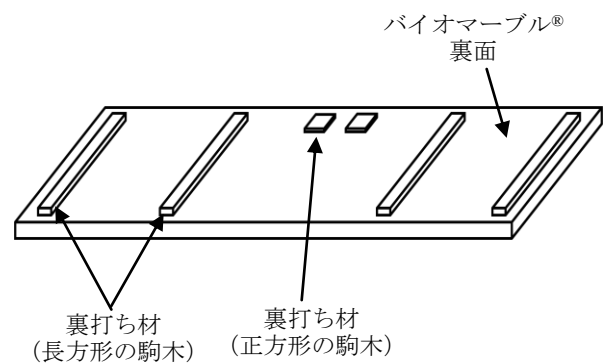
- ・下地材は木質系の下地材をご使用ください。ステンレス下地又は金属の下地への直貼りはしないでください。
- ・下地材の強度は栈木にて調整してください。補強する場合は、栈木を太くするか、栈木の間隔を狭めてください。
- ・一部分に荷重が集中するように重量物を積載すると、載荷点がたわんだり端部が浮き上がる恐れがあるため、キャビネット等下地材で十分強度が得られるよう構造設計をした上で施工してください。
- ・顕著なキズ、凹み等がある下地面には施工しないでください。
- ・施工前に下地の清掃を行ってください。



3.2. L型金具によるバイオマーブル®カウンターの固定

3.2.1. バイオマーブル®裏面への駒木の裏打ち

- (1) バイオマーブル®カウンターを枠組み下地に固定する場合はL型金具で固定することを推奨しており、L型金具で固定する際に裏打ち材として駒木が必要になります。施工を行う前に駒木が裏打ちしてあるか確認してください。駒木が裏打ちされていない場合、下記手順(2)～(4)に従い駒木を裏打ちしてください。
- (2) L型金具留めする箇所^①に長方形の駒木、又は正方形の駒木を裏打ち材として推奨接着剤にて接着してください。
バイオマーブル®裏面全面への裏打ちは、膨張率の違いによる反りの原因となるため、推奨できません。
- (3) 駒木を裏打ちする位置については、下地材の形状によって異なりますので、下地材の図面を確認して、間仕切り板や栈木等の枠組みに駒木が重ならないように位置を決めてください。
- (4) 裏打ち材接着時は十分に推奨接着剤が塗布されている事を確認し、浮きが生じた場合は万力等で固定してください。



3.2.2. L型金具及びビス留め

- (1) 駒木を裏打ちしたバイオマーブル®カウンターを下地材に載



せてください。

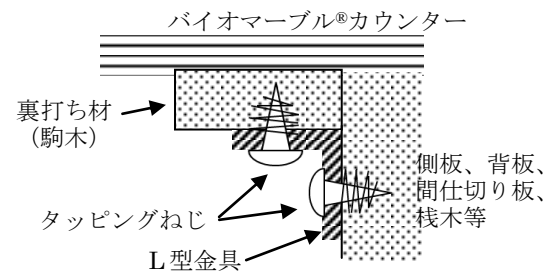
(2)下地材の側板・背板・間仕切り板・栈木等側面に L 型金具を取付ける位置をマーキングし、ビス留めしてください。L 型金具の取付け位置が高いと、バイオマール®カウンターと下地材の間に隙間が生じることがありますので、駒木から約 1mm 面落ちさせて取付けることを推奨します。



(3)バイオマール®カウンターに裏打ちした駒木と、下地材の側板・背板・間仕切り板・栈木等にビス留めした L 型金具をビス留めしてください。

(4)ビス留めについては、バイオマール®カウンターに直接ビスを打ちこまず、駒木にビスを打ちこんでください。そのため、ビスの長さは、合板と金具の合計厚みより短くし、バイオマール®カウンターに到達しない程度まで打ち込んでください。

(5)四隅は必ず L 型金具留めしてください。L 型金具で固定する間隔については、下地材の間仕切り板や強度補強の栈木等に合わせてください。



4. サイドパネル向け垂直面下地への施工方法

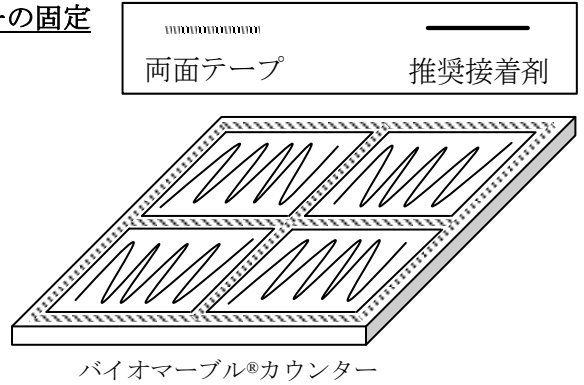
○垂直面が固定された合板下地材の場合、前垂れやバックガードのないバイオマール®カウンターはサイドパネル用途として施工が可能です。

4.1. 下地

- ・下地材はビス等で固定された合板等の木質下地材をご使用頂き、その他の下地へ直貼りはしないでください。
- ・顕著なキズや凹み、歪み等が生じている下地面には施工しないでください。
- ・施工前に下地面の清掃を行ってください。

4.2. 推奨両面テープと推奨接着剤によるバイオマール®カウンターの固定

- (1) バイオマール®カウンター裏面の端部から 3mm 離れた位置で仮止め用の両面テープ、両面テープのすぐ内側に推奨接着剤を線状に塗布し、内部は波線状に塗布してください。使用量目安はカートリッジ 0.7 本/m² (約 233mL/m²) になります。
- (2) 推奨接着剤を塗布後、両面テープの離型紙を剥がし 10 分以内にバイオマール®カウンターを貼り付けてください。
- (3) 接着する際、床面に接地していない場合は、接着剤が硬化するまで、床面とバイオマール®カウンターの間に高さを調整した当て木を入れてください。
- (4) バイオマール®カウンターと合板下地を仮固定できるよう、両面テープの位置を上から押さえて十分に接着してください。

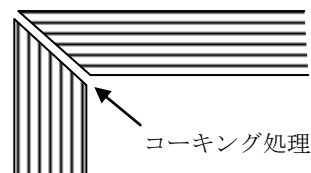


接着剤 商品名	室温			
	0℃	10℃	20℃	30℃
ボンド MPX-1	6 時間	2 時間	2 時間	1 時間

5.その他 施工上の注意事項

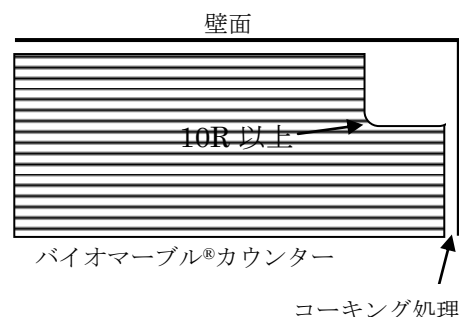
5.1. L型繋ぎ等

- ・L型繋ぎ等でバイオマーブル®カウンター同士を繋ぐ場合、突き付けはせず、間にコーキング処理を行ってください。突き付け施工した場合、バイオマーブル®カウンターは温湿度変化によって伸縮するため、欠けや隙間など不具合が生じる危険性があります。



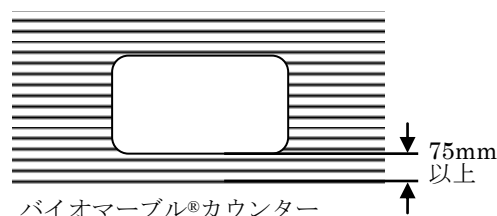
5.2. 柱廻り・壁廻り

- ・柱廻り、壁廻り等の切り欠き隅部は 10R 以上の R 処理が必要となりますので、問題ないことを確認してください。また、バイオマーブル®カウンターは温湿度変化によって伸縮しますので、壁面等に突き付けはせず、伸縮部分を考慮して、3mm 以上隙間を空けるかコーキング処理を行ってください。



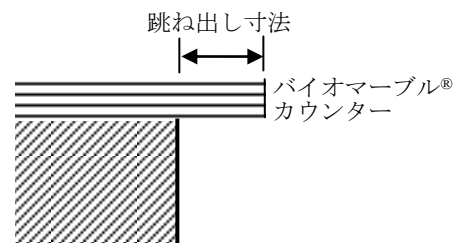
5.3. 切り抜き

- ・シンク、洗面穴切り抜き部分は強度確保のため端から 75mm 以上離し、たわみ防止のためカウンター端部と切り抜き部分の間は下地材の棧木等で補強してください。



5.4. 跳ね出し寸法

- ・バイオマーブル®カウンターを片側支持で跳ね出して使用する場合は跳ね出し寸法は 65mm 以下としてください。65mm を越えて跳ね出しする場合は、下からの支持（サポート）が必要となります。



5.5. 確認・清掃

- ・L型金具で固定した場合は、バイオマーブル®カウンターと下地材の間に隙間がないことを確認してください。隙間がある場合はL型金具が押し上げている可能性がありますので、側板等に取り付けたL型金具の位置を少し下げてください。
- ・カウンター表面は柔らかい布と中性洗剤で清掃してください。中性洗剤で落ちない汚れはアルコールをご使用頂き、アルコールで拭いた跡が残らないように、その後中性洗剤で清掃してください。また、木口面についてはメラミンスポンジをご使用ください。

6. 取扱い上の注意事項

【使用上の注意事項】

○バイオマープル®カウンターをご使用いただく際に次の点にご注意ください。



- ・沸騰した鍋、ヤカンや油鍋等は直接カウンター表面には置かず、必ず鍋敷き等の上に置いてください。
- ・火のついたタバコを直接カウンターの上には放置せず、必ず灰皿を使用してください。
- ・ドライヤーやストーブ等の熱をカウンターの表面に直接当てないでください。
- ・カウンターの上で直接包丁やカッターナイフ等を使用しないでください。
- ・水がかかった場合は、柔らかい布等で拭き取り、濡れたまま放置しないでください。
- ・バイオマープル®カウンターがたわんだり、反ったりするような重量物は置かないでください。

【お手入れ方法】

毎日のお手入れ

柔らかい布で水拭きを行い、その後、乾いた布で水分をきれいに拭き取ってください。

カウンター表面の汚れのお手入れ

汚れは放置すると取り除きにくくなるので、はやめに取り除いてください。 但し、クレンザーや金属製のたわし類は使用せず、必ず柔らかい布又はスポンジと中性洗剤を使用してください。また、中性洗剤で落ちない汚れは、アルコールやシンナー等の溶剤を使用して落としてください。

※ 酸、アルカリ性薬品や洗剤等で拭くと、変色や変質の原因となるので、使用はできるだけ避けてください。

木口面の汚れのお手入れ

金属製のたわし類は使用せず、メラミンスポンジやスチールウールで擦ってください。


その他ご不明な点につきましては、日本デコラックス(株)カスタマーセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

日本デコラックス株式会社
<http://paneat.decoluxe.co.jp>

カスタマーセンター

〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町柏森前屋敷10 TEL (0587)91-3501 FAX (0587)91-3505

フリーダイヤル  **0120-19-3501** ※携帯電話、スマートフォン、PHSからご利用になれません

Man-004-2